

## 第6学年2組 図画工作科学習指導案

千葉市立幸町第二小学校

指導者 西園 ひかり

### 1 題材名 みんなびっくり！マジカルメッセージ

### 2 題材について

本題材は、自分の伝えたいメッセージに合う、動くしくみをつけたメッセージボードやメッセージカードをつくり、相手に楽しくメッセージを伝える内容である。学習指導要領 内容A表現(2)「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。」にあたる。

本学級の児童は、非常に明るく元気な児童が多い。多くの児童が図工の授業を楽しみにしているが、絵や工作になると他人と比べ、苦手意識をもつ児童も多い。しかし、5年生のときに取り組んだ「パタパタ絵本」では、絵が変わる仕組みの面白さを楽しみ、夢中で取り組んでいた。また、教室に置いてある飛び出す絵本や動く絵本などを、興味をもって繰り返し見ている児童が多い。そこで、動く仕組みを使ったメッセージボードをつくり、自分でつくった仕組みで面白さを感じたり、相手に楽しく伝えたりすることができる題材にした。

まず、児童に完成したメッセージボードを見せ、動く仕組みを使ったメッセージボードの面白さを感じさせたい。また、実際にさまざまな仕組みに触れさせ、自分で動かす楽しさを体験させる。動きを見て、「どういう仕組みなんだろう？」と興味をもち、裏の仕組みを見て、「自分もつくってみたい！」という気持ちになるだろう。本単元では、単におもちゃづくりをして楽しむのではなく、相手に伝えるメッセージという目的をもたせることによって、動きに着目して発想を膨らませたり、メッセージに必要な動きを考えたりして、感性を十分に働かせながら取り組ませたい。

はとめパンチを使うのは初めての児童がほとんどである。用具になれるため、簡単な仕組みをつくり、はとめパンチの使い方の指導をする。穴のあけ方、はとめのセットのしかたなど、しっかり身に付けさせ、安全に、また、個人の作業のときにスムーズに作業できるようにする。

紙テープをはとめで留めてつくる仕組みは、慣れれば簡単なので、仕組みをいろいろ試しながらつくることができる。とめる穴の位置や、ガイドの幅や位置を少し変えるだけでも、動きが変わる。途中で、紙テープを付け足して動きを付け加えることもできる。また、割りピンは、取り外しができるので留める位置をいろいろと変えて試みるのに便利である。このように、自分の表したい動きになるように何度も動かしながら試行錯誤し、動きを見て、また感性を働かせながらつくることのできる題材であると考えられる。

この活動を通して、自分でつくった仕組みを動かす楽しさを味わうことや、相手に動くメッセージを伝えて喜んでくれる楽しさを感じて、ものづくりの楽しさを味わわせたい。

### 3 仮説との関わり

(仮説)

題材との出会わせ方を工夫し、活動の場を工夫すれば、自分の思いや願いを豊かに表現できるだろう。

#### ○題材との出会わせ方の工夫

はじめに、児童に完成したメッセージボードを見せ、動く仕組みを使ったメッセージボードの面白さを感じさせたい。いくつかの動く仕組みを紹介し、に触れさせ、興味をもたせる。楽しく動く見本や、思わず笑ってしまうような見本、自分で動かしてみるとその動きの面白さに夢中になるような見本を用意して置く。

#### ○活動の場の工夫

簡単な動く仕組みを置くコーナーをつくり、児童がいつでも見て触れるようにしておく。自分の発想を広げたいときや、何かつけたしたいときに見に行き、自由に動かせるようにする。多種多様で、かつ、つくりが難しくない仕組みを用意しておくことが必要である。また、図鑑、写真、絵本なども置き、イメージを広げるための手立てとする。

席はグループで向かい合って座り、友達と関わり合いながら活動できるようにする。友達の作品の動きの工夫や表現の工夫を見ながら作ることで、さらに表現の幅が広がっていくと考えられる。

### 5 題材の目標

○伝えたいことや想像したことを、動かしながら見ることやつくることに関心をもつ。

(関心・意欲・態度)

○つくりたいことや伝えたいことを見つけ、動かし方やつくり方を工夫する。(発想や構想の能力)

○つくりたい内容に応じて材料や用具を選び、効果的に使う。(創造的な技能)

○つくり方や伝える内容のアイデアや工夫を確かめたり、見方を深めて味わったりする。

(鑑賞の能力)

### 6 指導計画(全6時間 本時 5/6)

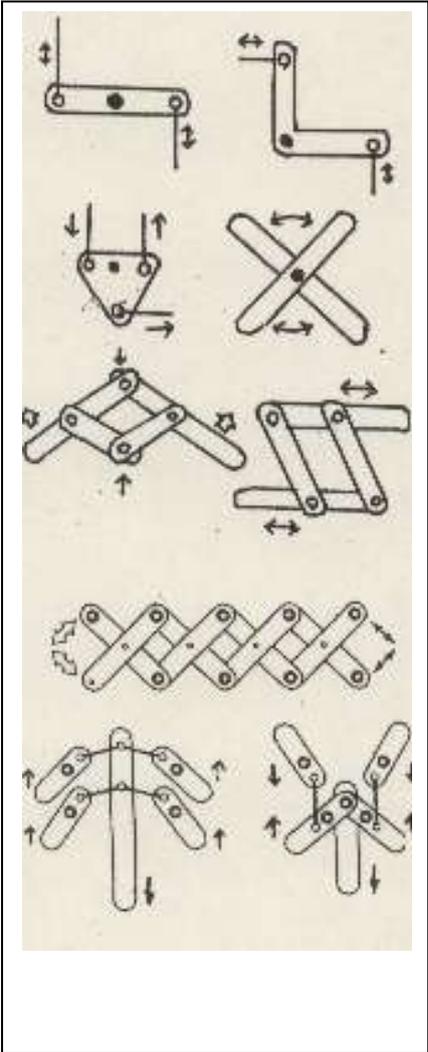
- ・ 仕組みをつくり、動かしてイメージを広げたり、見る方向やつくり方を変えたりして試みる。・・・1
  - ・ 自分の伝えたい相手とメッセージを考え、構想を練る ・・・1
  - ・ 表したいものに合った材料を選び、工夫しながらつくる。 ・・・3
- (本時)
- ・ 鑑賞する。 ・・・1

### 7 本時の学習

#### (1) 目標

自分のつくったものを動かしながら、さらに動きを付け加えたり、色合いなどを考えたりしながら完成させる。

#### (2) 本時の展開 (5/6)

学習内容と活動	○教師の支援・助言（●評価）	資料・道具等						
1 今日の学習の確認をする。	○前時までにつくった自分の作品を振り返り、本時は何をしたいのか見通しをもたせる。	仕組みの見本 図鑑・本						
楽しく動くステキなメッセージボードを完成させよう！								
<p>2 つくりたいもののイメージを広げながら、メッセージボードをつくる。</p> <p>予想される動く仕組み</p>  <p>予想される厚紙以外の材料</p> <table border="1" data-bbox="185 1780 627 1937"> <tr> <td>・折り紙</td> <td>・モール</td> </tr> <tr> <td>・ストロー</td> <td>・ビーズ</td> </tr> <tr> <td>・わた</td> <td>等</td> </tr> </table>	・折り紙	・モール	・ストロー	・ビーズ	・わた	等	<p>○自分の作品を動かしながら発想をふくらませ、工夫してつくることを助言する。</p> <p>○割りピンは取り外しができるので、留める位置をいろいろと変えて試みるのに便利であることを助言する。</p> <p>○仕組みを動かすと紙テープが折れてしまう児童には、より厚い紙を使用することを助言する。色が無い場合は、表に見える部分にのみ折り紙などを貼る事を助言する。</p> <p>○はとめを強く留めすぎると動きが悪くなるので、力加減を調節するよう助言する。</p> <p>○仕組みがうまく動かない場合は、つくったものと見本の仕組みを見比べられるよう教室の棚に置いておく。</p> <p>○ガイドの位置や幅によって動きが変わることに気づかせ、動きを工夫させる。</p> <p>○友達の作品のよいところを紹介し、よいと思った表現は自分の作品に生かせるように助言する。</p> <p>○穴あけパンチが届かないところに穴をあけたいときは、画鋸で穴をあけ、鉛筆で広げて割りピンでとめるよう助言する。</p> <p>○なかなか発想が広がらない児童には発想が広がるように、教室の壁に見本の仕組みをつるし、自由に動かせるようにする。みんなで仕組みを見たときに想像した言葉を模造紙に書いて掲示する。</p> <p>○図鑑、写真、絵本、イラスト集を置き、絵をかくのが苦手な児童は参考にできるようにする。</p> <p>○接着は、材料によって使い分けるよう助言する。</p> <p>●つくりたいものを発想を広げながら工夫し</p>	<p>厚紙テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板目</li> <li>・両面画用紙（厚口）</li> <li>・工作用紙</li> </ul> <p>厚紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>穴あけパンチ</li> <li>はとめ</li> <li>はとめパンチ</li> <li>割りピン</li> <li>凧糸</li> <li>はさみのり</li> <li>接着剤</li> <li>セロハンテープ</li> </ul> <p>画用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り紙</li> <li>モール</li> <li>ストロー</li> <li>わた</li> </ul>
・折り紙	・モール							
・ストロー	・ビーズ							
・わた	等							
3 自分の作品や友だちの作品を見	●つくりたいものを発想を広げながら工夫し							

<p>合い、工夫した点について話し合う。</p> <div data-bbox="183 241 639 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>・身長が伸びるのが分かりやすいようにメッセージをつけた。</li><li>・サッカーのシュートが決まるアイデアが面白い。</li></ul></div> <p>4 後片付けをする。</p>	<p>てつくる。(創造的な技能)</p> <p>○自分で良さを工夫した児童や、友だちの工夫した点を発表し合い、よさや工夫を賞賛する。</p>	
---	--	--